

桂田賞受賞者一覧表

(財) 日本寄生虫予防会

回数	年 度	氏 名	所 属	受賞研究業績
1	S23 年	横川 定	元台北帝国大学医学部	マラリア原虫の赤血球外発育に関する研究
2	S26 年	宮崎 一郎	九州大学・教授	日本産肺吸虫に関する研究
3	S27 年	大鶴 正満	九州大学・講師	戦後マラリヤの流行学的観察の研究
4	S28 年	田部 浩	岡山大学・教授	涼鳥住血吸虫に関する研究
5	S29 年	佐々 学	東京大学・助教授	恙虫の研究
6	S30 年	横川 宗雄	厚生省公衆衛生院	ウエステルマン肺吸虫に関する研究
7	S31 年	永吉 康祐	宮崎県串間市国保病院長	鉤虫の蔓延及び分布に関する生物学的研究
8	S32 年	宮崎 一郎	九州大学・教授	日本における顎口虫に関する研究
9	S33 年	小林晴治郎	京都府立医科大学・講師	肺吸虫の発育史に関する研究
	”	中川 幸庵		肺吸虫及び肥大吸虫の発育史に関する研究
10	S35 年	片峰 大助	長崎大学・教授	糸状虫症に関する研究
11	S36 年	枅屋 富一	九州大学・教授	鉤虫症貧血の研究
12	S37 年	小宮 義孝	国立予研・寄生虫部長	二世吸虫類幼虫の形態に関する研究
13	S38 年	佐藤 八郎	鹿児島大学・教授	フィラリア症の臨床及び治療に関する研究
14	S39 年	浅見 敬三	慶応大学・助教授	膾トリコモナスの研究
15	S 40 年	西尾 伍敬	千葉医学専門学校	半鹹水産魚類を中間宿主とする吸虫類の先駆的研究
16	S 41 年	高橋 昌造	元岡山医科大学	各種吸虫類の発育並びに形態に関する研究
17	S 42 年	加茂 甫	鳥取大学・教授	宮崎肺吸虫に関する研究
18	S 45 年	松林 久吉	慶応大学・教授	トキソプラズマの増殖とシスト形成に関する研究
19	S 46 年	長野 寛治	北里研究所・名誉部長	肝吸虫の生物学的撲滅法に関する研究
20	S 47 年	安羅岡一男	国立予研・寄生虫部室長	寄生蠕虫の宿主体外培養に関する研究
21	S 48 年	江口 季雄	岐阜医科大学・名誉教授	広節裂頭条虫の発育に関する研究

22	S 49 年	岡部 浩洋	久留米大学・教授	日本住血吸虫に関する研究
23	S 50 年	石川 道雄	元名古屋大学医学部	寄生虫の微細構造と機能に関する研究
24	S 51 年	石井 洋一	九州大学・教授	寄生蠕虫類の走査電子顕微鏡的研究
25	S 52 年	山口 富雄	弘前大学・教授	日本における旋毛虫の研究
26	S 53 年	大島 智夫	横浜市立大学・教授	犬回虫移行幼虫の研究
27	S 54 年	伊藤 二郎	静岡大学・教授	寄生吸虫類のセルカリアの形態分類学的研究
28	S 55 年	林 滋生	国立予研・寄生虫部長	寄生虫病の疫学的研究
29	S 56 年	小林 昭夫	東京慈恵会医科大学 ・教授	トキソプラズマ症に関する研究
30	S 57 年	岩田 正俊	元奈良学芸大学	裂頭条虫類の研究
31	S 58 年	長花 操	川崎医科大学・教授	肝吸虫の疫学的研究
32	S 59 年	田中 寛	東京大学・教授	日本住血吸虫症対策における疫学的研究
33	S 60 年	大林 正士	北海道大学・教授	人獣共通寄生虫症に関する研究
34	S 61 年	荘保忠三郎	元東京大学医科学研究所	セタリア属線虫に関する研究
35	S 62 年	高田 李久	大阪市立大学・教授	原虫感染症の疫学と防圧に関する研究
36	S 63 年	中林 敏夫	大阪大学・教授	病原性原虫の生物学的および疫学的研究
37	H 元年	吉田 幸雄	京都府立医科大学・教授	ニューモシスチス・カリニの研究
38	H2 年	該当者なし		
39	H3 年	藤田 潯吉	日本獣医畜産大学・ 客員教授	家畜寄生虫病の防圧に関する研究
40	H4 年	該当者なし		
41	H5 年	影井 昇	国立予研・寄生動物部・ 寄生線虫室室長	寄生虫性疾患に関するリファレンス業務とそれに基づいた新しい寄生虫感染の研究、またそのリファレンス業務に必要なかつ適正な検査法の普及活動
42	H6 年	相川 正道	ケース・ウエスタン・ リザーブ大学・教授	マラリア原虫の微細構造及び脳性マラリアに関する研究

43	H7年	亀谷 了	目黒寄生虫館・館長	Diplozoon の生活史に関する研究
44	H8年	荒木 恒治	奈良県立医科大学	有鉤囊虫症の研究
45	H9.4.4	井関 基弘	大阪市立大学・助教授	クリプトスポリジウムに関する研究
46	H10年	稲臣 成一	岡山大学名誉・教授	寄生蠕虫類の微細構造に関する研究
47	H11.4.6	辻 守康	杏林大学医学部・教授	中央アフリカにおける寄生虫対策と衛生教育に関する研究
48	H12.4.5	大友 弘士	東京慈恵会医科大学 ・教授	臨床マラリアに関する研究
49	H13.4.5	多田 功	九州大学名誉・教授	フィラリア症特にオンコセルカ症に関する研究
50	H14.3.29	伊藤 進午	元家畜衛生研究所	豚トキソプラズマ症の疫学・治療・予防に関する研究
51	H15.3.28	山根 洋右	島根医科大学 環境保健医学・教授	日本産裂頭条虫類の系統的分類基準に関する研究
52	H16.4.3	福島 英雄	鹿児島大学・名誉教授	糸状虫の疫学と防遏および根絶に関する研究
53	H17.4.8	石井 明	自治医科大学・名誉教授 東京大学名誉教授	マラリアの診断・疫学・防遏に関する研究 日本住血吸虫症における防御免疫機構とワク
54	H18.5.19	小島 莊明	国際医療福祉大学基礎医学研究センター教授	チン開発に関する研究および住血吸虫症制圧への貢献
55	H19.3.29	鈴木 守	群馬大学・学長	マラリアの病理・病態生理に関する研究
56	H20.4.3	竹内 勤	慶応義塾大学医学部教授	わが国の国際寄生虫対策（橋本イニシアティブ）の効果的な実施・推進に関する研究
57	H21.3.27	名和 行文	宮崎大学名誉教授	寄生虫症の免疫診断に関する研究
58	H22.5.20	藤崎 幸蔵	鹿児島大学農学部・教授	マダニとマダニ媒介性原虫病の防除のための基盤技術の開発研究
59	H23.7.17	青木 克己	長崎大学・教授	学際的手法の導入による寄生虫疾患の疫学特性の解析と人材育成に対する広範な貢献
60	H24.3.24	有菌 直樹	京津府立医科大学・名誉教授	腸管寄生虫線虫の感染局所における宿主寄生体関係の研究
61	H26.3.27	田邊 和祐	故大阪大学・教授	国内外におけるマラリア基礎研究の発展への貢献
62	H27.3.21	太田 伸生	東京医科歯科大学・教授	住血吸虫症の新たな制御法の開発に関する研

				究
63	H28.3.20	渡邊 直熙	東京慈恵会医科大学・名誉教授	寄生虫感染における IgE に関する研究
64	H29.5.28	長谷川英男	大分大学・名誉教授	人獣共通寄生虫症起因虫体の同定に関する研究
65	H30.3.17	五十嵐郁男	帯広畜産大学・教授	ピロプラズマ症の診断および治療法の開発に関する研究
66	H31.3.16	仙道富士郎	山形大学・元学長	シャーガス病対策を中心とした寄生虫対策国際研究協力の推進
67	R2.4.28	北 潔	長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科長	寄生適応におけるミトコンドリア多様性の意義と創薬
68	R3.4.16	平山 謙二	長崎大学熱帯医学研究所・教授	熱帯病の病態、重症度、感受性を決定するヒトの免疫応答性とその遺伝子支配について
69	R4.5.28	金子 明	大阪市立大学・教授	地球規模マラリア根絶への住民主導型統合戦略の構築
70	R5. 3. 30	大西 健児	鈴鹿医療科学大学	寄生虫疾患の臨床対応および各種輸入寄生虫症などの臨床研究
71	R6. 3. 9	堀井 俊宏	大阪大学・寄附研究部門教授	SE36 マラリアワクチンの開発 ー基礎から臨床までー